

【科目名】薬理学		【担当教員】桑島 治博
【授業区分】専門基礎分野 (リハビリ関連科目)	【授業コード】 2-14-0445-0-2	(メールアドレス) kuwajima@ngt.ndu.ac.jp
【開講時期】2・3年次 前期	【選択必修】選択	(オフィスアワー)
【単位数】1単位	【コマ数】8コマ	来校時に対応
<b>【注意事項】</b> (受講者に関わる情報・履修条件)  (受講のルールに関わる情報・予備知識) 受講前に教科書を読んでおいて下さい。		
<b>【講義概要】</b> (目的) リハビリテーション分野において必要となる様々な病態、および健康状態における薬物作用の基礎知識を習得する。リハビリテーション分野において、必要なる薬理学の概念と知識を習得する。薬物の体内動態、薬物に影響を及ぼしうる要因、さらに薬物の副作用についての知識を習得する。授業内容に準じて知識を習得し、リハビリテーション医療に生かせる能力を身につける。 (方法) 教科書を中心に、リハビリテーションに関わる内容を中心に講義を行う。		
<b>【一般教育目標(GIO)】</b> ・将来、医療現場においてコメディカルとして参画するために、各疾患で適用される薬物と生体との相互作用を学び、薬物治療の基本原則を理解する。		
<b>【行動目標(SBO)】</b> ①用量と薬理作用の関係を説明する。 ②薬物の作用機序を説明する。 ③各ライフステージにおける薬物動態を説明する。 ④薬物の副作用・有害作用を説明する。 ⑤各疾患の薬物療法で使用される薬物の種類作用機序・副作用を説明する。		
<b>【教科書・リザーブドブック】</b> 鈴木正彦 新訂版 クイックマスター薬理学 サイオ出版 ¥2,600		
<b>【参考書】</b>		
<b>【評価に関わる情報】</b> (評価の基準・方法) ・成績評価基準は本学学則規定 GPA に従う。 ・成績評価は期末試験および課題レポート点により総合的に評価する。		

平成 26～28 年度入学者用

【達成度評価】		試験	小テ スト	レポート	成果発 表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合		80	0	20	0	0	0	0	100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識	80	0	10	0	0	0	0	90
	思考・推論・創造の力	0	0	5	0	0	0	0	5
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	0	0	0	0
	発表力	0	0	0	0	0	0	0	0
	学修に取り組む姿勢	0	0	5	0	0	0	0	0
【授業日程と内容】									
回数	講義内容			授業の運営 方法	学修課題(予習・復習)			時 間 (分)	
1	薬理学の基礎知識 (1)			講義	教科書を一読する。			30	
2	薬理学の基礎知識 (2)			講義	教科書を一読する。			30	
3	末梢神経系作用薬			講義	教科書を一読する。			30	
4	中枢神経系作用薬、オーコイト <sup>®</sup> 、アレルギー用薬			講義	教科書を一読する。			30	
5	心臓血管系作用薬、血液造血系作用薬			講義	教科書を一読する。			30	
6	呼吸器系作用薬、消化器系作用薬、物質代謝			講義	教科書を一読する。			30	
7	抗感染症薬、抗悪性腫瘍薬			講義	教科書を一読する。			30	
8	漢方薬、生物学的製剤と診断用薬			講義	教科書を一読する。 課題提出			30	

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。